

No.18

【文化】 芦名沢の観音様②脚本

担当：佐藤 裕也

1 テーマ設定の理由

鹿角には古くから様々な伝説がある。その中で「芦名沢の観音様」にまつわる伝説に着目し、探究することにした。「芦名沢の観音様」を選んだ理由は、物語の展開が起伏に富み、また「悲恋」というテーマ自体が生徒の興味をひくと考えたからである。「芦名沢の観音様」を演じることを主軸にして3つの講座に分かれ、本講座では演じる上で核となる脚本を作成することを目的とする。

2 これまでの取り組み

5月16日 オリエンテーション

5月30日 脚本の作成①

6月 6日 脚本の作成②

6月30日 高木豊平氏による講義及び脚本の添削

3 今後の展開

来るふるさと教育の発表会では作り上げた脚本をもとに、受講生徒が劇を行う予定である。そのため講座番号17、19の生徒も交えて演技の練習を行っていく。